

根木内城跡(松戸市)

築城年代:寛正3年(1462年)、築城者:高城胤忠

ねぎうちじょうあと

正面の木々のエリアが根木内城跡/国道6号線(右下から左上に続く道路)と旧水戸街道の交差点「根木内」から東方向に見たところ/ここが公園化され、遺構が残っている/しかし、本来の城域はこの左手(北側)に主郭部が展開していたのだが、国道6号線により分断されて、すっかり宅地化され消滅してしまっている



これは「根木内歴史公園」として整備されている部分の根木内城跡を南側から見たところ



左手を見たところ



右手を見たところ



さて、根木内歴史公園城址口へと進もう/坂を上ると大手口と思わしき虎口がある



説明板も立っている



根木内歴史公園



根木内歴史公園 (公園の現況と城郭範囲)



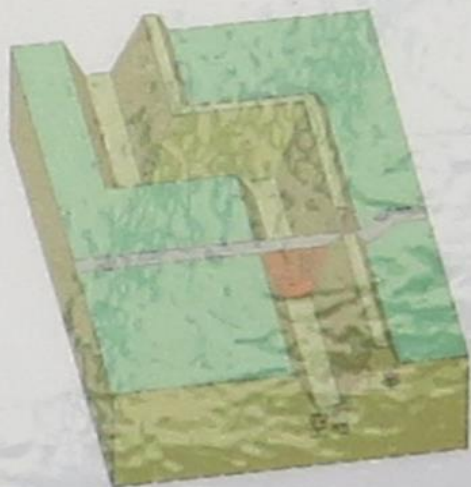
根木内城は、小金城が築城されるまで高城氏の本拠地として機能した城と云う

2) 根木内城について

- 城のはじまり 戦国時代がはじまった 15 世紀中頃
- 築城者 原氏または高城氏(下総の国守護千葉氏に関わる武家)
- 城の役割 小金城の東側を守る拠点、街道の監視など
- 城のおわり 豊臣秀吉が天下統一を果たした 16 世紀末(1590 年頃)
- 城郭の規模 東西 200m、南北 500m(公園の南北を含む推定範囲)

◎ 遺跡の見どころ

模式図(空堀、土塁、土橋)



■ 空堀(からぼり)

敵の侵入を防ぐために、郭(城の区画)の周囲に造られた堀です。堀の大きさは、幅約8m、深さ約4mで、城に敵が容易に近づけないようになっています。

■ 土塁(どるい)

堀を掘った時の廃土などで、郭の縁辺部を盛り上げて、敵の侵入を困難にした土手です。2mを超える土塁も見られます。

■ 土橋(どばし)

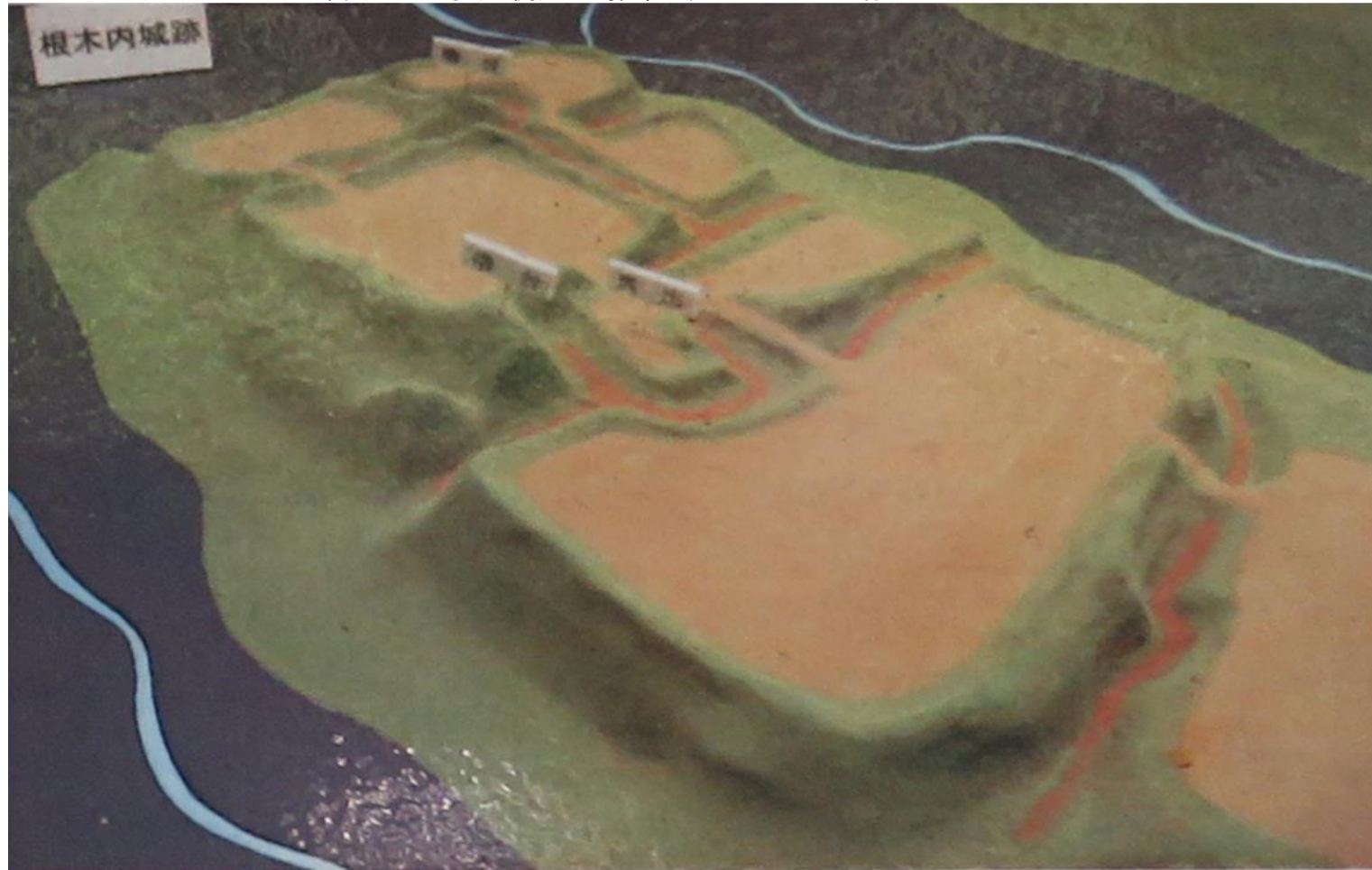
空堀の一部を掘り残して郭と外部を結ぶ役割をもった土の橋です。土橋は直線的ですが、敵が侵入しにくいように、幅は狭くなっています。

根木内城跡は南から北に延びる舌状台地に築かれ、東西を挟んでいる富士川の支流を天然の要害としていた/南端台地は空堀によって遮断(土橋の位置)しており、台地の北端に主郭が置かれた/主郭は四方に土塁を配置し、北・東・南に虎口を構えていた/特に川のない南方に向けては嚴重な構えだった



左下に行人台城跡とあるが、根木内城跡の西に置かれていた出城跡/右下に東漸寺旧地とあるのは小金城への移転とともに現在地へと移転した東漸寺が創建されたとされる根木内城跡の南東のエリア

中央から左手(北側)の主郭部が、宅地化で全て消滅してしまっている



■ 根木内城を南西から見たイメージ ■

さて、ここが南端台地への侵入を遮断している空堀に架かる土橋/前方が南端台地への虎口

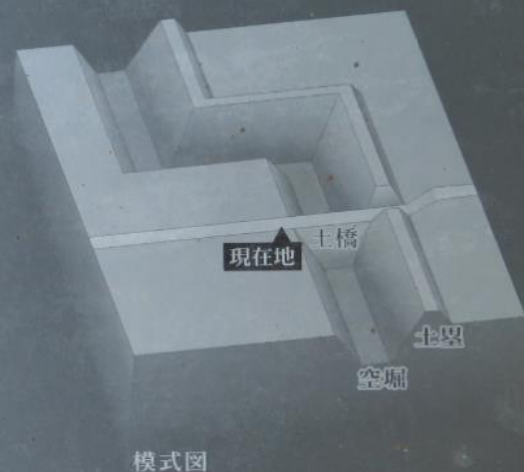


右手に立つ根木内城跡の標柱



ど ばし 土 橋

空堀を一部掘り残して土の橋を造っています。郭(城の区画)と郭、郭と外部を結ぶ役割がありました。土橋は直線に近いのですが、古い測量図からは両側の土塁の位置をわずかに食い違い、道を曲げていたことがわかっています。敵から郭の中を見えにくくし、一直線に侵入させないための工夫です。また当時は橋の幅も狭かったようです。



これが土橋/両サイドには大きな空堀が横切っている



南端台地にある郭跡へと虎口を進もう



右手の土塁を見たところ



その右手を見ると大きな空堀



こちらは左手の土塁



その更に左手の空堀



正面が南端台地にある郭跡



郭跡から振り返って土橋を見たところ



ここが郭跡/芝生広場となっている



別の角度から [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



さて、これは改めて郭跡から土橋方向を見たところ



そこで右手を見たところ



同じく左手を見たところ



左手の土塁を見たところ/説明板が立っている



ど らい 土 塁

堀を造った時の廃土などを、堀の内側に沿うようにして盛り上げ、つき固めたものが土塁です。堀と郭（城の区画）縁辺の間に土手くるわのように築くことで、敵の侵入を困難にし、また味方は身を隠しながら攻撃することができました。土橋をはさんだ両側の土塁は、2mもの高さがあります。国道によって消滅した部分の土塁は、郭の角で面積を広げていましたが、そこには櫓やぐらが建てられていたことでしょう。



模式図

土塁に登ってみたところ



土塁上から南側の空堀を見下ろしたところ/かなりの深さだ



それではここから左手の空堀に下りてみよう



これが先程土塁上から見下ろした空堀



空堀底を進む



振り返って土橋方向を見たところ/説明板がある



北条氏の得意とする障子堀や畝堀といった築城技術が見られると云う

から ぼり 空堀

敵の侵入を防ぐために、郭（城の区画）の
縁辺下には堀が造られます。これだけの幅と
深さがあると、敵は容易に近づけなかつたで
しょう。

公園外の南側の遺跡（現在は宅地）では、
堀底に障子と呼ばれる施設や、畑の畝のよう
な工夫を施したものなど、いっそう防御を固
めた堀が発見されています。



現在の堀の幅：8m
深さ：4m

正面中央に土橋をアップで見たところ [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



更に空堀底を進む



もう一度振り返って土橋方向を見たところ



そこで右手を見たところ/切岸が続いている [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



空堀底の先は湿地に続いている



湿地の手前から振り返って切岸を見たところ/切岸の上部は先程の郭跡



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ



その更に右手は湿地となっている



かつては川だった湿地越しに根木内城跡を見たところ



これは北側から湿地沿いに見たところ



右手を見ると公園になっている郭(右手)とその北側の主郭部(左手)との間にある空堀がある



その左手の切岸を見たところ/こちらの上部が先程の郭跡



深く切れ込んだ薬研堀とされる空堀を進もう



左手の切岸を見たところ/この上部が先程の郭跡



右手の土塁を見たところ/この上部が北側の主郭部



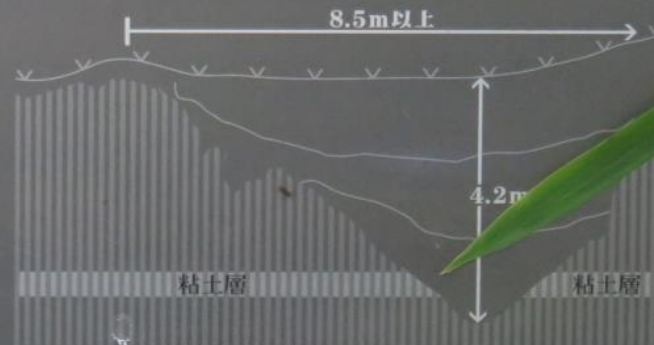
振り返って湿地方向を見たところ/説明板がある



からぼり 空堀

敵の侵入を防ぐために、郭（城の
区画）の縁辺下には堀が造られます。
これだけの幅と深さがあると、敵は
容易に近づけなかったでしょう。

右の断面図は、平成10年度に松
戸市教育委員会によって行われた
埋蔵文化財確認調査によるものです。
調査地点付近は堀が埋められていま
したが、薬研堀といわれる底が尖つ
た形状の空堀が確認されました。



調査地断面図



空堀底を登り切った所/前方にも僅かな窪みがある



これがその窪み/空堀が埋まってしまったようだ



左手には先程の郭跡が見える



振り返って登って来た空堀底を見たところ/左手が土塁でその上部が北側の主郭部



その土塁に登ってみる



ここが北側の主郭部/しかし前方のフェンス下には国道6号線が走っており、その先の遺構は消滅している



このエリアが僅かに残った北側の主郭部ということのようだ/本来ならこの先にはまだ台地が続いていた



さて、ここは南東側にある公園の入り口/正面が上富士川に架かる根木内城址橋



改修により護岸された上富士川/現在は小規模になっているが、当時は湿地帯の部分も川であり、天然の要害であった



北東側から上富士川及び湿地帯越しに根木内城跡を見たところ



さて、ここは城域(根木内歴史公園城址口)の南側にあったとされる「障子堀」跡の辺りを見たところ



別の角度から/遺構は残っていない



ここは最初の国道6号線と旧水戸街道の交差点/国道6号線で分断された右手が根木内歴史公園で、左手の宅地周辺には北側の主郭部が存在したが、現在では見る影もなくなっている



これはそこで振り返って行人台城跡方向を見たところ/行人台城は、当時、川を挟んで根木内城の西側に位置していた出城



参考ホームページ

<http://jyokakuzukan.la.coocan.jp/013chiba/113negiuchi/negiuchi.html>

<http://yogazusa.my.coocan.jp/negiutimd.htm>

http://www.pasonisan.com/rvw_trip/chiba/17-06-negiuti.html

<https://ameblo.jp/castle-manabu/entry-12201494760.html>

<https://sites.google.com/a/onodenkan.net/lie-dao-cheng-zhi-ji-xing/chibaken/gen-mu-nei-cheng>

<http://srtutsu.ninja-x.jp/shiro214.html>

<https://cmeg.jp/w/castles/2374>

https://blogs.yahoo.co.jp/lunatic_rosier/42633837.html?_vsp=5qC55pyo5YaF5Z%2BO6Leh

<https://blog.goo.ne.jp/cellisich/e/c83d7ba38b3cb4b7e0adbb0972164e7e>

<https://plaza.rakuten.co.jp/rekisiro/diary/201603110000/>

<http://www.matsuyomi.co.jp/castle/238-松戸の城跡を訪ねて%EF%BC%88%EF%BC%91%EF%BC%89.html>

